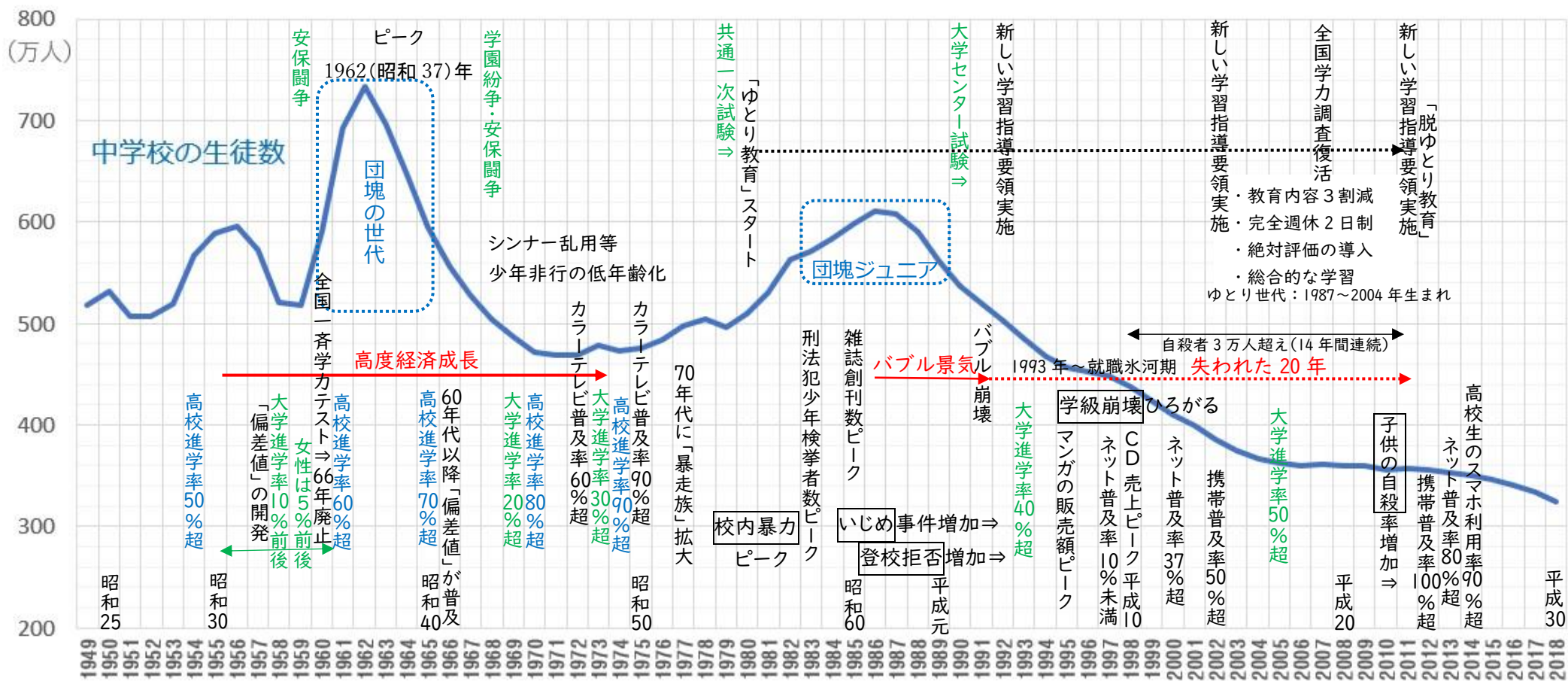


【戦後の教育年表】



平成の教育関連の主な事件

- ◎「愛知県西尾市中学生いじめ自殺事件」: 1994(平成6年)に同級生からのいじめと恐喝(110万円以上)を苦に中2の大河内清輝君が自殺した事件。
- ◎「神戸連続児童殺傷事件」: 1997に兵庫県神戸市須磨区で発生した当時14歳の中学生による連続殺傷事件。別名『酒鬼薔薇(さかきばら)事件』。
- ◎「栃木女性教師刺殺事件」: 1998年(平成10年)1月に栃木県で、13歳の男子中学生が学校内で女性教師を刺殺。(少年に補導歴・非行歴はなかった)
- ◎「名古屋中学生5000万円恐喝事件」: 2000年に発覚。1人の男子中学生が中2の夏から約1年半にわたり同級生らから5000万円以上を恐喝されていた。
- ◎「佐世保小6女児同級生殺害事件」: 2004年6月、長崎県の小学校で、6年生の女子児童が同級生の女児にカッターナイフで切り付けられて死亡した事件。
- ◎「津市中2いじめ自殺事件」: 2011年10月に滋賀県内の中学2年生の男子生徒が「いじめ」を苦に自殺。学校と教育委員会の隠蔽体質が問題となった。
- ◎「大阪市立桜宮高校体罰事件」: 2012年12月、高校2年生のバスケット部主将の男子生徒が自殺した。顧問の男性教諭から「体罰」を受けていた。
- ◎「佐世保女子高生殺害事件」: 2014年7月、佐世保市の公立高校に通う女子生徒が同級生の女子生徒を殺害。「人を殺して解体してみたかった」と供述。
- ◎「福井県池田中学校生徒自殺事件」: 2017年10月、中学2年の男子生徒が担任らの厳しい指導や叱責を苦に校舎から飛び降りて自殺。いわゆる「指導死」。